

令和3年度 第1回 城陽市立東部デイサービスセンター運営推進会議

出席者(委員) : 利用者家族 1名
地域住民の代表 3名
行政機関等職員 2名

担当職員 : 管理者 1名

意見徴収期間 : 令和3年8月25日～令和3年9月13日

新型コロナウイルスの感染予防に関する令和3年度第1回運営推進会議の開催について城陽市高齢介護課に確認をすると当面、令和2年2月26日付けで城陽市高齢介護課より運営推進会議の対応についての通知と同様の取り扱いでよいと返答あり。

令和2年2月26日付城陽市高齢介護課より事務連絡として「新型コロナウイルス感染予防に関する運営推進会議の取り扱いについて」の通知あり。以下通知内容抜粋。

- ①運営推進会議について、新型コロナウイルス感染予防の観点から事業所判断により延期または中止としていただいております。なお、延期または中止とした場合は、当課宛にご一報願います。
- ②運営推進会議を延期または中止とする場合は、本来の運営推進会議を延期または中止とする場合は、本来の運営推進会議開催日時に合わせて、運営推進会議の委員宛に会議資料を郵送、FAX、電子メール等で送付していただき、情報公開や意見聴取に努めてください。

委員の皆様には8月21日から24日に電話連絡のうえ、8月25日付に委員の皆様へ郵送にて会議資料(資料1:令和2年度 事業報告/資料2:令和3年度 事業計画/資料3:事業所の活動報告、事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告/資料4:東部だより(3月号～7月号)/資料5:令和2年度利用者アンケートのご報告)を送付。その際に、意見徴収を行う。結果は以下のとおり。

意見聴取の結果

委員:9月に入り秋の気配を少し感じるようになりましたが、皆様のご活躍に感謝いたしております。毎月お届けいただく広報誌に"かけはし"が加わり、利用者の皆様のご様子や健康だより・介護相談等ちょっと気になる情報も加わり楽しく読ませていただいております。介護者の皆様にとってもより身近なものとなり大切な情報となっていることとおもいます。

事務局:ありがとうございます。令和2年度利用者アンケートの結果より認知症対応型通所介護通信「かけはし」の発行が開始となりました。安心してご利用いただける為に様々な情報発信をしています。また、コロナ禍の中で未開催となっている家族交流会に代わるものとして、ご利用者・ご家族と職員が繋がりを持てる手法として継続していければとおもっています。

事業報告について

委員:平均稼働率が85.4%と前年に比べて伸びているところは、スタッフの皆様のご苦勞・工夫の賜物とか感じました。目標稼働率について、規則等で決まりがないのなら少し上げて上回る年もある様にした方がやりがいがあるのではないかと感じました。車両事故への対応として、速やかに交通安全委員会を発足され安全運転に努められ安心いたしました。危機管理では、軽度ではありますが事故数の増加は少し心配です。

事務局:労いのお言葉とご提案いただきありがとうございます。目標稼働率については基準が定められています。その目標を目指して取り組んでいきたいと思っております。車両事故については、現在も施設全体の最重要課題と捉えて交通安全委員会を中心に事故ゼロを目指し、安全運転研修や交通安全スローガンを月ごとに掲げるなどの取り組みを行っています。施設内の事故についても、事故を未然に防げるよう、今まで以上に気づきを増やして事故防止に努めて参ります。

事業計画について

委員：コロナ禍で先の見えない中、基本方針に基づき利用者の皆様が安心安全に利用できるように引き続き創意工夫を凝らし事業を進めていただきたい。
スタッフの皆様にとって働き甲斐のある職場であることが、利用者の方々が安心安全に過ごせる場所になると思います。継続とスキルアップに期待いたします。

事務局：コロナ禍であらゆる事が制限されている中で、安心してご利用いただけるように環境を整えています。WEB会議ツールを活用し、内部研修や外部研修の参加をしています。今まで通りには行かない部分もありますが、職員のスキルアップを目指しています。

利用者アンケートについて

委員：アンケート実施については大変ご苦労されたことと推察いたします。

事務局：利用者アンケートでの評価により職員のモチベーションを向上させる機会となっています。今年度は昨年度に取り組んだ内容へも評価をしていただき、さらに良い改善策を導き出せればとおもっています。

以上